

## [第675回 ラジオ大阪番組審議会議事録]

1. 開催日時 令和7年3月19日(水) 午後2時00分～3時00分

2. 開催場所 ラジオ大阪 大会議室

3. 委員の出欠 委員の総数 6名

出席の総数 6名

出席委員の氏名 成瀬 國晴 河内 厚郎  
たつみ 都志 鎌田 雅子  
内田 透  
鳴海 勝(書面参加)

放送事業者側出席者の氏名

吉野 達也 上野 慶子  
志知 直哉 西村 有理亜

4. 議題

1) 番組審議 『サイラジ!光の未来探検』

2) その他

5. 議事の概要

議題1) 『サイラジ!光の未来探検』について、番組の企画意図と内容を説明し、審議に入った。

社側 2024年12月7日から放送を開始した「サイラジ!光の未来探検」は光にスポットを当てたネオサイエンス番組です。光の凄さや不思議を専門家に教えていただき、フリーアナウンサーの八木早希さんと一緒に光について学ぶ15分録音番組です。21世紀は光の時代とも言われており、光を用いた技術や科学の様々な研究が進んでいます。そんな光について専門家をお招きし光の凄さや不思議、未来を切り開く最先端技術について教えていただき、光にまつわるワードの深掘りをして誰かに自慢したくなる光の話

をお届けする番組です。20～60代の知的好奇心の高い男女、またオプトロニクス社の取引先である業界誌の企業を主にターゲットにしております。八木早希さんは元MBSアナウンサーであり、現在フリーアナウンサーとして活躍中。オプトロニクス社(本社：東京都)は「月刊オプトロニクス」などの雑誌、書籍、電子媒体の発行を行う出版社。また、OPIE' 25という国内最大規模のフォトニクス展示会(光技術に関する製品や研究成果を紹介する展示会)を主催し、Japan Pavillionという海外主要展示会の企画運営もしています。

審議して頂く放送内容は以下、4つの放送分です。

- ・2025年2月1日放送分「光量子コンピューター」
- ・2025年2月8日放送分「光量子コンピューターとの出会い」
- ・2025年2月15日放送分「光量子コンピューターのある未来」
- ・2025年2月22日放送分「ムーンショットプロジェクト」

委員 光について学ぶ15分番組だが、話題が専門的すぎて、一般のリスナーは興味がわきにくいと思った。毎週1回、全4回で1つのテーマのようだが、全体を通して聞かないと話が理解できないと感じた。じっくり聞けば、知識が深まり、おもしろい番組だが、ラジオでサイエンス番組は、イメージがわきにくく、一般のリスナーには、しんどいのではないか。新しい切り口の番組で、チャレンジは評価するが、もう少し工夫をしないとリスナーは定着しないと思う。

委員 この番組は、資料にもあるようにスポンサー向きだと思う。私は一般リスナーとして聴いたが、杉島さんが出版社の編集長だとわかったが、まだ何者かよくわからないままだったので冒頭でもう少し説明して欲しかったのと、ゲストの高瀬さんとの関係性の説明があるとよかった。八木アナが一般リスナーの代表的な立ち位置で、何も知らない体で話を持っていくと、私たちにももう少しわかりやすくなるのかなと思う。

委員 リスナーターゲットが絞られすぎていないか。もし一般リスナーを呼び込みたいと思うなら、もう少し一般の方の土壌に立って易しく言い直すとかすると新しいリスナーを取り込めると思う。理系の方や光を専門にしている方に向けて野心をもって語ってらっしゃることは客観的に感じたので、私たち年配者からするとがんばれとエールは送りたい。

委員 聴く前は「ラジオ科学番組」のイメージがつかめなかったが、実際に聴いてみて、映像がないからこそさまざまな想像がかき立てられ、イメージが膨らむ効用があるとわかり、新たな可能性を感じた。正直に言うと、量子や光量子コンピューターに関する直接的な説明はよくわからなかった

が、たとえ話、イメージを想起させる話が随所に織り込まれ、わかりやすく、興味を惹かれた。こうしたわかりやすいたとえ話が「ラジオで伝える科学番組」の肝になるのだと感じた。引き続き、リスナーに希望を与えるような科学者を紹介していただくよう期待している。

委員       もしかすると将来、凄い番組を聴いていたとなるかもしれないので楽しみだ。私は文系だから理解して聴くのを諦めたが、中学生にはいいのではないか。専門的だがわかりやすく、出演者の説明も聴きやすい。去年12月に世界初の光量子コンピューターが日本で完成したという最先端の情報があった。この番組は将来が楽しみで、自慢になるような番組だ。

委員       光量子という初めて接する言葉だが、今僕たちは時代の入口に立っている。CDを初めて見たのは40代。私がOBCでラジオをやっていたテープの時代に、ゲストがCDを持ってきた。今はまったく普通のことだが、この時僕たちはこのゲストのCDの話飛びついて聞いた。今は普通にあること。光の話はこれと同じことではないかと思う。一般の人が聴きやすいように番組の外側をもう少しやわらかく、興味がわくようなものにして欲しい。温かい目で見たい。

社側       貴重なご意見、ありがとうございました。

以上

6. 審議会の答申又は改善意見に対してとった措置および年月日

な し

7. 審議会の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容・方法及び年月日

- ・ 「番組審議会だより」 (第675回ラジオ大阪番組審議会議事録の要約)

「ラジオ大阪番組審議会レポート」 内で放送

放送日 令和7年4月20日(日) 6時10分～6時15分

- ・ 「番組審議会だより」 (第675回ラジオ大阪番組審議会議事録)  
ラジオ大阪ホームページ (<http://www.obc1314.co.jp>) に掲載
- ・ 番組審議会の議事録の原本は事務局立ち会いのもと閲覧に応じる。

8. その他の参考事項

訂正放送または取り消しの放送の請求及び請求に対しての措置が無い旨を報告。

以上